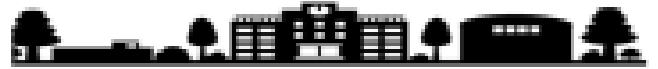


□ 私立高校入試



昨年度の3年生は、72名中31名が私立高校への進学を決めています。学費や施設整備費など、公立高校よりも割高ですが、そのぶん施設設備が充実しており、よりきめ細やかな指導が期待できます。また、指定校推薦枠を多く持っていたり、特別進学コースを設置したりと、大学進学を考えたときに公立よりも有利になる場合があります。さらにはスポーツや文化活動による推薦制度もあるので、自分の競技をさらに突き詰めて頑張りたい生徒には向いている一面もあります。今回は宮城県内にある19校の私立高校の入試制度について、簡単に説明します。なお、一昨年度からほぼすべての私立高校でWEB出願が採用されています。

宮城県内の私立高校

東北生活文化大学高等学校 東北高等学校 宮城学院高等学校 仙台南高等学校 尚絅学院高等学校
 仙台大学附属明成高等学校 東北学院高等学校 東北学院榴ヶ岡高等学校 聖和学園高等学校
 常盤木学園高等学校 仙台育英学園高等学校 聖ウルスラ学院英智高等学校 仙台白百合学園高等学校
 聖ドミニコ学院高等学校 古川学園高等学校 大崎中央高等学校 東陵高等学校 西山学院高等学校
 日本ウェルネス宮城高等学校

私立高校の入試は、「推薦入試」「一般入試（A・B日程）」「第二次募集」の3種類です。

< 推薦入試 >

試験日：令和4年1月12日（水）

特徴：1. 校内の調査書等作成委員会の審議が必要である。
 2. 評定などの出願資格を満たす必要あり。
 3. 合格したら必ず入学することが条件。
 （公立高校を受験することはできません。）

どんな人物？

遅刻や欠席がほとんどなく、提出物や清掃活動にもしっかりと取り組むことができる学習・生活面ともに学校の模範となる生徒

受験区分：高等学校によって受験区分は異なります。

学業奨学生公立併願：公立高校も受験できる推薦制度。

奨学生推薦：学業や部活動など、一芸に秀でた生徒が受験できる推薦。

事前に中学校と高校の間で確認の必要がある。

高校の顧問と保護者の口約束では、推薦入試を受けられません。

推薦：上記の特徴1～3をクリアすれば、受験できる推薦。

自己推薦：上記の特徴1（高校によって2も）がなくても受験できる推薦。

受験科目：面接（個人、集団、保護者同伴など）、作文、学力検査がある場合あり。

< 一般入試 >

試験日：令和4年2月1日（火）【A日程】、2月3日（木）【B日程】

受験区分：高等学校によって受験区分は異なります。

一般入試：公立高校受験 可能

専願入試：合格したら必ず入学することを意思表示することで、合格ラインを下げてもらおう入試システム。公立高校受験 不可

私立の中で1番入試：私立が2校とも合格したら、あなたの高校に入学手続きをすることを意思表示することで合格ラインを下げてもらおう入試システム。公立高校受験 可能

受験科目：国数英（理社）【記述またはマークシート】、面接や実技試験がある場合あり。

専願入試はA日程で実施する高校が多い！

< 私立合格後の流れ >

① 2校合格した場合は、どちらか一方に一次手続きで一次金を納入する。（合格の権利を保有できる。）

※「私立の中で1番入試」を受験し合格した場合は、その高校に一次手続きをする。

② 公立高校に合格し公立高校に進学する場合は、私立の二次手続きを行わない。（一次金は返ってこない。）

③ 私立高校に進学する場合は、二次手続きを完了させる。